

2025 年度

事 業 報 告 書

2025 年 4 月 1 日から
2026 年 3 月 31 日まで

学校法人 利晶学園

事業報告書

私立学校法第103条第2項に基づく2025年度の本法人の事業報告書は以下のとおりです。

1. 法人の概要

(1) 建学の精神と学園の理念

1937年4月、大阪初芝商業学校の設立にあたり、校訓を「誠実剛毅」、校則を「剛健なる体力の練磨、勤勉の良風の養成、自治精神の発揮、責任観念の顕現、謙譲の美德の涵養」と定め、学校教育を通して社会に貢献する教育活動の推進に努力してまいりました。

変化の激しい時代に創立の地「堺」から新たな教育を発信・展開するため、2025年4月より法人名を「利晶学園」に変更する事を決定し、新たな学園理念を【「shape the future」君が未来を創る 学園発祥の地 自由・自治都市「堺」の気風を礎に一人ひとりの手で未来を切り拓く】と決めました。

今後も、各学校園・スイミングスクールの「個性化」と「特色づくり」をより一層推進することで、子どもたちの成長と育成を支援し、日本や世界の未来を創る人材育成に努めて参ります。

(2) 学校法人の沿革

1937年	1月20日	財団法人大阪初芝学園の設立申請。
	4月30日	財団法人大阪初芝学園設立に係る大阪初芝商業学校設立（文部大臣より許可）。
1948年	4月 2日	学制改革により新制高等学校発足。校名を初芝高等学校（普通科・商業科）とする。
1951年	3月 8日	財団法人から学校法人に組織変更。
1953年	4月 1日	初芝高等学校附属幼稚園開園。
1982年	8月31日	初芝高等学校附属幼稚園スイミングスクール開校。
1984年	4月 1日	初芝高等学校富田林分校開校。
1985年	4月 1日	初芝高等学校富田林分校を初芝富田林高等学校と名称変更。 初芝富田林中学校開校。
1991年	4月 1日	初芝橋本高等学校開校。
1995年	4月 1日	初芝橋本中学校開校。
1998年	4月 1日	初芝中学校開校。
2001年	9月 1日	初芝中学校を狭山登美丘学舎へ移転。
2003年	4月 1日	はつしば学園小学校開校。
	9月 1日	初芝中学校を初芝堺中学校と名称変更。
2008年	7月22日	学校法人立命館と教学提携。
2009年	4月 1日	初芝高等学校を初芝立命館高等学校と名称変更。 初芝堺中学校を初芝立命館中学校と名称変更。 初芝高等学校附属幼稚園をはつしば学園幼稚園と名称変更。
2011年	4月 1日	初芝立命館高等学校、法人事務局を北野田キャンパス（狭山登美丘学舎）へ移転。
2025年	4月 1日	学校法人大阪初芝学園を学校法人利晶学園と名称変更 初芝立命館中学校を利晶学園大阪立命館中学校と名称変更 初芝立命館高等学校を利晶学園大阪立命館高等学校と名称変更 はつしば学園小学校を利晶学園小学校と名称変更 はつしば学園幼稚園を利晶学園幼稚園と名称変更

(3) 設置する学校、学科等

設置する学校	開校年月	学科等	摘要
利晶学園大阪立命館高等学校	1937 年 4 月	全日制（普通科、体育科）	
初芝富田林高等学校	1984 年 4 月	全日制（普通科）	
初芝橋本高等学校	1991 年 4 月	全日制（普通科、国際科*1、体育科*2）	
初芝富田林中学校	1985 年 4 月		
初芝橋本中学校	1995 年 4 月	*3	
利晶学園大阪立命館中学校	1998 年 4 月		
利晶学園小学校	2003 年 4 月		
利晶学園幼稚園	1953 年 4 月		

*1 2012 年度から募集停止

*2 2014 年度から募集停止

*3 2024 年度から募集停止

(4) 学校、学科等の生徒数等の状況

2025 年 5 月 1 日現在 単位：人

学校名		入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
利晶学園大阪立命館高等学校	普通科	400	1,200	1,025	
	体育科	40	120	116	
初芝富田林高等学校	普通科	360	1,080	493	
初芝橋本高等学校	普通科	225	675	361	
利晶学園大阪立命館中学校		180	540	618	
初芝富田林中学校		120	360	212	
初芝橋本中学校		80	240	22	
利晶学園小学校		140	840	538	
利晶学園幼稚園		満 3 歳児 75 名 3 歳児 100 名 4 歳 5 歳児若干名	405	285	

(5) 役員の概要

2026年3月31日現在
定員数 理事 7名～17名、監事 2名

	区分	氏名		区分	氏名
1	理事長	森島 朋三	11	理 事	佐本 一晃
2	学園長	牧川 方昭	12	理 事	江川 順一
3	副理事長	川崎 昭治	13	理 事	高橋 英幸
4	専務理事	城野 靖	14	理 事	道上 達也
5	常務理事	松本 明子	15	理 事	若山 守
6	常務理事	木村 雄介	16	理 事	寺田 佳司
7	常務理事	木田 成也			
8	理 事	福永 正博	1	監 事	古林 茂
9	理 事	花上 徳明	2	監 事	岡 庄吾
10	理 事	安田 悦司			

(6) 評議員の概要

2026年3月31日現在
定員数 評議員 8名～18名

	氏 名		氏 名
1	三井 淳美	11	宮尾 半弥
2	川本 秀樹	12	栗田 直樹
3	宮平 智子	13	小山 久子
4	仲埜 寿樹	14	東留 博孝
5	東野 邦子	15	細野 由紀子
6	竹谷 知子	16	指吸 明彦
7	岩橋 徹	17	八木 誠
8	高岡 隆真	18	葛村 和正
9	山西 登		
10	上里 昌輝		

(7) 教職員の概要

2025 年 5 月 1 日現在

区分		本部	利晶学園 大阪立命館 中・高校	初芝 富田林 中・高校	初芝 橋本 中・高校	利晶学園 小学校	利晶学園 幼稚園	計
教 員	本務	2	101	47	25	30	21	226
	兼務	—	18	26	15	14	14	87
職 員	本務	6	3	4	3	3	1	20
	兼務	5	16	12	18	25	5	81

単位：人

2. 事業の概要

本法人は1937年に創設され、本年で88年を迎えました。現在では大阪・和歌山に中学校・高等学校3校をはじめ、小学校、幼稚園、スイミングスクールを展開する総合学園として、地域に貢献しています。2008年には学校法人立命館と教学提携を締結し、学園理念「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」のもと、グローバルに活躍できる創造的な人材の育成等、子どもたち一人ひとりの個性や力を伸ばし、その夢や目標の実現に取り組んで参りました。

そうした中、2025年4月より、変化の激しい時代に対応した新たな教育を展開していくため、法人名を「利晶学園」に変更すると共に、堺市に所在する学校園、初芝立命館中学校・高等学校を利晶学園大阪立命館中学校・高等学校、はつしば学園小学校を利晶学園小学校、はつしば学園幼稚園を利晶学園幼稚園へ変更しました。

その他、学校園・スクールでは以下の課題に取り組んでいます。

(1) 学園の取り組み

① 学園 Vision2030 の課題設定・取り組みの推進

- ・ 法人名の変更、学園理念の制定
- ・ 将来課題の検討

② 各学校園の教育目標の達成及び特色化の強化

- ・ 利晶学園大阪立命館中高 SSH 指定校としての取り組み・実践
- ・ 初芝富田林中高を利晶学園中高への校名変更、2027年度より文理学科を設置
- ・ 初芝橋本高等学校 DX ハイスクールの指定
- ・ 利晶学園小学校 英語教育の充実
- ・ 利晶学園幼稚園 英語教育・課外授業の充実

③ 幼稚園の認定こども園への移行に向けた取り組み

- ・ 2026年4月より認定こども園への移行の決定
- ・ 認定こども園への移行に向けた規程等の整備
- ・ 認定こども園への移行に向けた体制の強化

④ 各校園の学ぶ環境及び施設設備の整備

- ・ 各キャンパス 非構造部材耐震化の点検
- ・ 北野田キャンパス 体育館空調整備
- ・ 北野田キャンパス 変圧器更新工事

⑤ 幼小中高スイミングを擁する総合学園としてのメリットの最大限の活用

- ・ 利晶学園レビューの開催
- ・ 生徒募集活動における幼小、小中、中高とスイミングスクールの連携

⑥ 安定した入学者数の確保

- ・ 各校の必達目標の達成（各校園の取り組みに記載）

⑦ 立命館との教学提携・人事交流及び連携のさらなる強化

- ・ 定期協議会の開催(年1回)
- ・ 立命館からの出向者の受入れ、立命館一貫教育部への出向者の派遣

⑧ 優秀な教員の確保と教職員の力量アップ

- ・ 教員組織整備計画の策定
- ・ 教職員合同研修会(年1回)の実施
- ・ 教職員採用試験の実施

⑨ 働き方改革に基づく教職員の健康管理・長時間労働是正に向けた業務改善

- ・ 各校衛生委員会の定期的な開催

⑩ 私立学校法の改正に対応した学園ガバナンスの強化とコンプライアンスの一層の強化

- ・ 各種規程の改正
- ・ 新寄附行為に基づく理事会・評議員会の開催

(2)各学校園等の取り組み

①利晶学園大阪立命館中学校・高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 新しい教育の実践	
(1)サイエンス教育の重点化と実践	・SSH の実践 万博（イタリア、豪州館）でプレゼンを実施 豪州・カンボジアとの国際共同研究を実施
(2)US コース実践	・海外姉妹校包括提携 ターム留学準備講座の実施
2. 「開かれた学校」のブランド確立	
(1)広域連携	・すさみ町との連携（中学校） 中高1年生の Freshers Camp において、すさみ町での民泊やキャンプを実施 ・郡上八幡、奈良、滋賀での探求型宿泊研修（高等学校） ・西オーストラリア州との連携 SSH 共同研究として、Ocean Reef High School と国際共同研究を実施
(2)企業等との連携	・IHI、堺市観光課とのコラボ ・立命館大学女性研究者との懇談会を実施
3. 進学実績の組織的向上	
(1)国公立大学合格実績の向上	・コース責任者を配置し、個別指導を強化 国公立大学 16 名 合格
(2)提携校推薦	・理系進学者増に向けての取り組みの実施 サイエンスラボ講座 理系講演会の実施 ・立命館大学 148 名 APU7 名 進学
(3)私立大学への合格実績の向上	・関関同立 29 名 合格 ・MARCH 2 名 合格 ・産近甲龍 125 名 合格
4. 生徒募集の安定と広域化	
(1)入試広報活動の強化	・大阪市内、北摂地域への広報活動 ・おおさか R クラブでの情報発信 ・保護者対象の教育懇談会の実施
(2)US コースの入試広報	・US オープンディの実施
(3)中学入試	・入学者数 207 名
(4)高校入試	・入学者数 489 名
5. 施設設備の整備	
(1)教室設備・改修	・体育館へ冷房を設置
(2)情報発信・ICT の充実	・サイエンスラボの機器を充実 ・レーザー加工機の貸与

②初芝富田林中学校高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 授業・特色教育	
(1)教育目標「本質を問い、本質を見極める力を養う」の実現のための教育内容づくり	・自ら学ぶ姿勢を養う日々の学びの充実。 Tonglish・富読 ・深い学びへの授業の質の向上 対話型論証の推進 ・学びの拡充と実力養成のための放課後有効活用
(2) 授業方法の改善を図り次世代の教育方法を模索する	・D Xハイスクールの取り組み強化 データサイエンスに生成A I の利用を加味した公開授業を実施 ・対話型論証の授業方法の研究 京都大学松下佳代教授の指導による事前討議・研究授業・事後討議を実施
2. 進路指導	
(1)2026 年度大学入試の安定した進学実績 2027 年度大学入試での飛躍的な向上に向けての進学指導の強化	・難関大対策プロジェクトリーダーにより、飛躍的な実績向上に向けての取り組みの実施 ・進路データ管理の徹底、経年比較による分析等で長期的視野を育む ・進路講演会、進路説明会、進路対策会議等を実施 国公立 37 名 関関同立 66 名 産近甲龍 181 名 合格
3. 職場環境	
(1)明るい印象を与える職場環境の整備	・プロジェクトの段階的な更新 ・施設内の段階的な LED 化
4. 広報活動	
(1)入試広報の強化を図り、定員確保と安定経営の回復を目指す	・入試部の組織運営強化 ・広報地域の重点化 ・校名変更の広報を強化 ・教育内容の独自性の広報 ・HP等の計画的な更新 ・高 校 入学者数 160 名 ・中学校 入学者数 95 名

③初芝橋本中学校・高等学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 教育内容に関わる課題	
(1) 生徒の学力向上	・教育課程の点検、見直し 立命館コースの教育課程を一部見直し ・スタサタ！参加者増
(2) 探究活動の強化	・令和7年度 DX ハイスクールへの指定 ・探究コーディネーターを活用し、高校2年生の探究授業を強化
(3) ICT 機器の活用	・生徒端末とアプリの積極的な活用
(4) 国際理解教育の推進	・留学生の受入れ ・生徒の国際理解の深化
2. 進学実績向上の課題	
(1) 進路指導体制の強化	・模試データの分析と共有 ・グロースナビ導入についての研修を実施
(2) 大学進学への意識づけ	・説明会等の充実 生徒、保護者対象の進学説明会を実施 生徒対象の大学見学会を実施 オープンキャンパス等の大学主催行事への参加
(3) コースごとの目標設定	・国公立 7 名 ・関 関 同 立 39 名 ・産 近 甲 龍 29 名 合格
3. 生徒募集に関わる課題	
(1) 定員確保に向けた募集活動の強化	・募集地域の見直し 大阪府を重点地域とし、南海高野線沿線の中学校を訪問 ・大阪での出張説明会を実施（6回） ・WEB 広告や SNS の積極的な活用 ・高 校 入学者数 143 名
4. 組織・施設に関する課題	
(1) 施設への対応	・柔道場の畳等の張り替え ・デジタルものづくりスペースの設置 ・プロジェクターの更新

④利晶学園小学校

重点目標	具体的な取組内容
1. 幅広い進路選択を可能にする確かな学力の養成	
(1) 学力推移データ等に基づく現状分析と課題の整理	・本校独自の到達度テストを年2回実施 ・難関中学校への合格率の上昇 ・内部進学率の上昇
(2) 授業内容の改善・充実	・年6回、校内研修を実施 ・教科研究のもと新任研修を実施
(3) 進路指導体制の再編	・6年生で習熟度別授業を実施 ・効果を検証
2. 社会の変化に柔軟に対応できる力の素地養成	
(1) グループ・ペア学習の深化	・教科部会や学年でグループペア学習を実施
(2) 宿泊体験学習の充実	・1年生から6年生まで宿泊行事を実施 ・5年生はAUS ケアンズの修学旅行を実施
3. 豊かな心の育成	
(1) 基本的な生活習慣の育成、夢や目標の実現のために必要な力の育成	・グループペアを基盤とした学級集団の育成 ・道徳部会と連携し、思いやりの心の育成 ・ハンガリーから自問清掃の視察団を受入れ
(2) 児童支援体制の整備	・SC への教育相談体制の充実 ・サポート会議を軸とした教員間の情報共有
4. 英語教育・国際教育の充実	
(1) 英語教科化を踏まえた指導目標・学習内容の体系化	・英語4技能をバランスよく育成 ・フォニックスを使用したライディングとリーディングの指導の強化
(2) 授業の充実	・ネイティブ教員と日本人英語教員との連携による授業の充実 ・採用後7年を経過した「GrapeSEED」の実践と効果検証を行った。
(3) 英語力の検証システムの構築	・児童の英語級を把握し、上位級への挑戦へ誘導
(4) グローバル人材を育成するための日本文化への理解と体得	・お箏体験（3年生から6年生） ・華道体験（3年生、4年生） ・茶道体験（1年生、2年生）
5. 利晶サイエンス・テクノロジー教育の充実・深化	
(1) 理科に関心を持つ心の育成	・「科学する心」を育むカリキュラムを構築 ・年9回の教科部会を実施、新人教員の授業力を向上
(2) プログラミング学習の実践	・グルーヴノーツと連携し、テクノロジー教育を新たに実践
6. 安定した学校運営	
(1) 募集定員の確保	・訪問地域/訪問幼児教室等の拡大 ・大阪チャレンジの実施 ・小学校1年生入学者数98名 転入生9名入学

⑤利晶学園幼稚園

重点目標	具体的な取組内容
1. 保育の質の向上と教育内容の充実	
(1) 正課授業の充実	・英語教育の充実 「GrapeSEED」「LittleSEED」「EnglishTime」の活用 ・国際教育、異文化理解（「せかいタッチ」の活用） ・行事の充実（わくわくデー、運動会、発表会等の実施） ・RISHO フェスタの開催
(2) 課外授業の充実	・英語/スイミング/体操/バレエ/絵画/サッカー/体操/書き方/知育/ピアノ等開講 ・卒園児対象 English Summer Program を実施
(3) 預かり保育の充実	・長期休暇中の昼食の選択制を導入（弁当又は給食）
2. 園児募集	
(1) 広報の充実	・動画配信、Instagram等によりリアルな教育活動を発信
(2) 募集関連行事の充実	・まみたんイベントの実施（0.1.2歳児対象イベント） ・ひよこ教室、ホール開放等による親子参加型イベントの充実
(3) 学園内交流による教育	・教育連携企画の実施 （利晶学園大阪立命館吹奏楽部、ダンス部との交流、学園小学校との交流） ・幼少連携（学園小学校進学希望者を対象に「はつ小」サロンを開催）
3. こども園化に向けての整備	
・こども園化に向けて運用規程等の整備 ・体制の整備	

⑥初芝スイミングスクール

重点目標	具体的な取組内容
1. 会員育成	・全国 JOC ジュニアオリンピック 200m自由形 優勝 400m自由形 優勝 800m自由形 優勝 - 日本高等学校選手権水泳競技大会 400m自由形 優勝 800m自由形 優勝
2. 会員獲得	・2026年3月末現在、909名在籍。 ・年3回(6月・10月・2月)の1ヶ月体験教室を実施 ・年2回(7月・3月)の短期教室を実施
3. 学園内各校園との連携強化	・利晶学園幼稚園との連携 体育授業の一環で水泳授業を実施 預かり保育/延長保育でスイミングスクールの授業を受講。 ・利晶学園小学校との連携 小学校の体育授業の一環として水泳授業を実施 ・初芝富田林中学校の授業に施設貸与 体育授業（水泳）のサポート

3.施設等の状況

2026年3月31日現在
面積：㎡ 金額：千円

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額	摘 要
堺市東区日置荘西町 (利晶学園幼稚園)	園地	4,301	141,151	141,151	
	園舎	2,884	652,052	341,268	
同上 (初芝スイミングスクール)	土地	1,518	28,868	28,868	
	建物	1,304	322,111	77,273	
堺市東区西野 (北野田キャンパス)	校地	48,523	2,916,279	2,916,279	利晶学園小学校 利晶学園大阪立命館中 高等学校、本部分含む
	校舎	29,463	4,396,714	1,961,131	
富田林市彼方 (初芝富田林中高)	校地	58,314	1,335,086	1,335,086	借地
		8,463	—	—	
	校舎	11,845	3,104,996	1,116,055	
橋本市小峰台 (初芝橋本中高)	校地	39,053	1,258,000	1,258,000	寮敷地 (714㎡) 含む
	校舎	12,006	3,238,974	1,203,521	
	寮建物	2,093	608,706	266,826	
三重県南伊勢町	土地	92,929	1,711	1,711	未利用

※校舎には、建物付属設備及び構築物を含む。

4.財務の概要
(1) 計算書類

資金収支計算

2025 年 4 月 1 日から
2026 年 3 月 31 日まで

単位：円

	a.2025 年度 第 1 回補正予算	b.2025 年度 決 算	差 異 (a-b)
資金収入	7,499,709,892	7,828,579,673	△328,869,781
前年度繰越支払資金	2,558,630,987	2,558,630,987	
収入の部合計	10,058,340,879	10,387,210,660	
資金支出	7,397,823,666	7,537,521,700	△139,698,034
翌年度繰越支払資金	2,660,517,213	2,849,688,960	△189,171,747
支出の部合計	10,058,340,879	10,387,210,660	△328,869,781

事業活動収支計算

2025 年 4 月 1 日から
2026 年 3 月 31 日まで

単位：円

		a.2025 年度 第 1 回補正予算	b.2025 年度 決 算	差 異 (a-b)
教育活動収支	事業活動収入の部	4,007,165,345	4,087,844,088	△80,678,743
	事業活動支出の部	4,057,474,767	3,922,303,512	135,171,255
	収支差額	△50,309,422	165,540,576	△215,849,998
教育活動外収支	事業活動収入の部	19,754,990	30,552,703	△10,797,713
	事業活動支出の部	306,571	297,830	8,741
	収支差額	19,448,419	30,254,873	△10,806,454
経常収支差額		△30,861,003	195,795,449	△226,656,452
特別収支	事業活動収入の部	27,434,000	55,436,829	△28,002,829
	事業活動支出の部	97,320,276	111,237,554	△13,917,278
	収支差額	△69,886,276	△55,800,725	△14,085,551
〔予備費〕		37,400,000		37,400,000
基本金組入前当年度収支差額		△138,147,279	139,994,724	△278,142,003
基本金組入額合計		△183,878,551	△166,435,209	△17,443,342
当年度収支差額		△322,025,830	△26,440,485	△295,585,345
前年度繰越収支差額		△5,094,797,653	△4,785,709,626	△309,088,027
翌年度繰越収支差額		△5,416,823,483	△4,812,150,111	△604,673,372

貸借対照表

2026年3月31日

単位：円

	a.本年度末	b.前年度末	増 減 (a-b)
資産の部			
固定資産	13,308,320,479	13,421,708,174	△113,387,695
流動資産	3,452,498,331	3,114,387,147	338,111,184
合 計	16,760,818,810	16,536,095,321	224,723,489
負債の部			
固定負債	469,403,013	495,151,122	△25,748,109
流動負債	1,174,685,198	1,064,208,324	110,476,874
合 計	1,644,088,211	1,559,359,446	84,728,765
純資産の部			
基本金	19,928,880,710	19,762,445,501	166,435,209
繰越収支差額	△4,812,150,111	△4,785,709,626	△26,440,485
合 計	15,116,730,599	14,976,735,875	139,994,724ss
負債及び純資産の部			
合 計	16,760,818,810	16,536,095,321	224,723,489

(2) 主な財務比率比較

単位：％

比率名	算式	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
事業活動収支 差額比率 (△)	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	7.6	3.7	2.6	1.3	3.7
基本金組入後 収支比率 (▼)	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入－基本金組額}}$	93.1	109.0	99.2	103.0	100.3
学生生徒等 納付金比率 (～)	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	53.5	53.7	53.8	49.0	46.9
人件費比率 (▼)	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.7	62.5	62.4	63.5	58.7
教育研究経費 比率 (△)	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	18.4	19.6	20.0	19.3	19.6
管理経費比率 (▼)	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	14.8	15.1	15.7	16.9	17.0
流動比率 (△)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	312.1	287.6	308.9	292.7	297.1
負債比率 (▼)	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	9.7	10.3	10.0	10.4	10.8
純資産構成 比率 (△)	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	91.1	90.7	90.9	90.6	90.3
基本金比率 (△)	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.4	99.6	99.3	103.2	103.6

■ 比率名の（ ）内の記号は、評価を表している（「今日の私学財政」（日本私立学校振興・共済事業団）による）

（△）：高い値が良い （▼）：低い値が良い （～）：どちらともいえない

(3) その他

①有価証券の状況

区分	銘 柄	数 量	B/S 価額	時 価	計上科目
株式	王子ホールディングス他	93,710 株	59,892,124 円	167,950,734 円	有価証券
合計		93,710 株	59,892,124 円	167,950,734 円	

②学校債の状況

発行年度	本年度末残高	利息	償還期限	摘 要
2024 年度	35,400,000 円	—%	2027 年 3 月	
2025 年度	35,200,000 円	—%	2028 年 3 月	
2026 年度	42,800,000 円	—%	2029 年 3 月	
合 計	113,400,000 円			

③寄付金の状況

寄付金の種類	寄 附 者	金 額	摘 要
特別寄付金	各校保護者会等	43,007,501 円	
現物寄付金	各校保護者会等	11,416,003 円	

④主な補助金の状況

補助金の内訳	金 額	摘 要
国庫補助金	37,382,000 円	私立学校施設整備費補助金 デジタル人材育成事業補助金等
大阪府経常費補助金	991,774,000 円	
和歌山県経常費補助金	142,484,000 円	
大阪府授業料支援補助金	567,854,901 円	
大阪府その他の補助金	19,174,408 円	物価高騰対策一時支援金 教育振興補助金
和歌山県その他の補助金	2,090,504 円	物価高騰対策支援金 県ハイスクール強化高指定事業補助金等
市町村他補助金	7,764,910 円	堺市、橋本市

⑤収益事業の状況

スイミングスクール（サービス業）の状況は次のとおりである。

損益計算書

単位:千円

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
売上高等	89,466	97,832	109,023	103,097	107,073
売上原価	1,883	2,033	1,403	1,270	1,596
販売管理費等	92,112	86,237	87,280	89,332	80,757
学校会計繰入前利益	△4,529	9,562	20,340	12,494	24,719
学校会計繰入支出	0	0	15,340	10,494	15,985
当期純損益	△4,529	9,562	5,000	2,000	8,734

※ 千円未満の端数処理の関係で内訳の計が合計と一致しないことがある。

貸借対照表

単位:千円

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
流動資産	220,768	155,615	245,192	353,345	415,475
固定資産	16,844	13,420	9,915	6,700	4,686
資産合計	237,612	169,035	255,107	360,045	420,161
流動負債	11,341	9,654	10,531	39,853	4,366
固定負債	7,514	7,223	7,602	0	0
負債合計	18,855	16,877	18,133	39,853	4,366
純資産合計	218,757	152,157	236,974	320,192	415,795
負債・純資産合計	237,612	169,035	255,107	360,045	420,161

※ 千円未満の端数処理の関係で内訳の計が合計と一致しないことがある。